

## 常任委員会

6月定例会で常任委員会に付託された案件の審査を6月5日、6月18日から22日に3つの常任委員会で行いました。委員会の審査で行われた主な質問と答弁を要約して紹介します。

### 公共工事の市内業者への優先発注について

**問**現在の経済危機の中で、優先発注等市内業者への配慮が必要だと思うが、市の見解は。

**答**未曾有の経済危機対策として、市内業者に積極的に応札してもらって、市内を活性化する必要がある。一方では、競争性、公平性を確保すべきである。未曾有の経済危機の状況にあり、できるだけ市内業者に発注が可能な状況にはしたいということで、今年度の発注方針の中で取り組みをしている。設計単価についても、国が基準をもっているのであるが、速やかな見直しをして、対応をしていきたい。

### 病児保育の実施について

**問**栗東市では小学校3年生までを対象として病後児保育を再開される。本市では、これまで病後児保育を実施していたものを、病気中の児童でも保育できるよう対象を拡大して実施されるが、対象とする児童の年齢層の引き上げについて検討されたのか。

**答**今回の病児、病後児保育を実施するにあたり、年齢層の引き上げを検討したが、どれだけの人数がこの事業を利用されるのか十分に把握できないため、認可保育所に通園中の児童のみを対象とした。

### 乗合タクシー実証運行事業について

**問**他の自治体で取り組まれている同様事業は、多くの失敗事例もある。効果あるものとするためには、利用者がなければならず、まず実態を把握し、十分な周知を図るとともに先例に学ぶ必要がある。また、高齢者福祉の観点や遠距離通学支援事業のような、教育を受ける権利を平等に保障する観点からもこの事業を展開する必要があると考えるがどうか。

**答**広報、チラシ等により十分なPRを行うとともに、地元にも説明に伺い、乗らない方の意見も聞くとともに、モニターができる体制を作る。老人福祉施設や病院とも協議し、実証実験を交えながら市民ニーズに応えていけるルートを設定し、これから2年半をかけ本市にあったしくみを作り上げていきたい。

## 総務常任委員会

### えふえむ草津の受信状況について

**問**えふえむ草津について、非常用の情報提供施設にもなっているため、いざというときに電波が届かないことがあってはならないが、受信状況のチェックはされているのか。

**答**市民の方から聴きづらいとの声があったため、えふえむ草津に電波調査を依頼したところ、市内23箇所を調査をしていただいた。一部の地域において電波が弱いところがあったが、いずれのポイントでも聞こえたとの報告を受けている。

## 文教厚生常任委員会

### ごみの減量促進について

**問**開催されている審議会の議論の内容と、今後の市の方向性について伺う。

**答**6月3日に第12回の審議会が開催され、先に実施したパブリックコメントでの意見に対する検討事項を整理された。その中では、ごみ袋の有料化に伴う諸問題への措置、現在の無料配布制度の見直し、有料化以外のごみの減量化対策など18項目があげられ、今後慎重に審議検討していくこととされた。

ごみの減量化については、有料化が全てだとは思っておらず、今後ごみの分別の徹底や、一層の資源化などについて市民の皆様にご協力していただけるよう啓発していく。

## 産業建設常任委員会

### 外国人の安定就労に向けた日本語教室事業について

**問**日本語を話せないことによるコミュニケーション不足を理由とする雇止め、派遣切り等の事例も見られる現状から、外国人の安定就労に向け日本語教室を開催されるものであるが、多くの外国人がおられるなかで対象者の把握、また日本語を学びたい方の人数把握は出来ているのか。

**答**本市には、5月1日現在で2,115名の方が外国人登録しておられるが、職業安定所において日本語がネックとなっている求職相談者のうち、中国語を話される方が28%、ポルトガル語を話される方が14%おられることから、まず大きなウェイトを占めるこの2言語の日本語教室を実施する。他の言語における日本語教室の要望があれば、今後委託団体と協議し、改善できればと考えている。